

【TEAM PROFILE】

エンブレム チームマスコット「パーサクン」



チーム名の由来

1993年に一般公募によって名付けられた「京都パープルサンガ」は、前進の京都紫光クラブ時代からのチームカラー「PURPLE（パープル）」に仲間を意味するサンスクリット語「サンガ」と山紫水明の京都をイメージさせる「山河」の響きを掛け合わせたものでした。2007シーズンからの現チーム名「京都サンガF.C.」には、「Football」を通して「Fun」「Family」と共に「Future」を目指すCLUBへという想いが込められています。

ホームタウン：京都市、城陽市、宇治市、京田辺市、長岡京市、向日市、木津川市

ホームゲーム会場：京都市

【INFORMATION】

◆第10回京都環境賞特別賞を受賞(H25.1.31)

京都サンガF.C.では、「DO YOU KYOTO？」大使への就任(H21.9.4)を機に、スタジアムでのてんぷら油・小型家電の回収やカーボン・オフセットマッチの実施など、環境に配慮した取り組みを進めてきました。こうした活動が「他に類を見ない大きな普及啓発効果が認められる」と評価され、京都市より表彰を受けました。

2013 ファンクラブ申込受付中！

2013年度のファンクラブの申込を受付中です。招待券やイヤープックがもらえたりとファンクラブ会員だけの特典が目白押しです。皆さんのご入会をお待ちしています。

ホームゲームスケジュール

- 3月31日(日) 16:00 VS 徳島ヴォルティス
- 4月14日(日) 16:00 VS 横浜FC
- 4月21日(日) 14:00 VS ガイナーレ鳥取
- 4月28日(日) 13:00 VS ジェフユナイテッド千葉

会場：西京極陸上競技場兼球技場

詳細情報はこちらをご覧ください

オフィシャルHP

<http://www.sanga-fc.jp/>

チケット案内

<http://www.sanga-fc.jp/ticket/index/>

Q 改めて今シーズンへかける意気込みをお願いします。
 今年は私がサンガの監督になって3シーズン目になります。だからといって何か特別なものを足すのではなく、今までやってきたことを積み上げることで『勝

Q 新たな選手が加わり、シーズンが始まりました。チームの雰囲気はいかがですか？
 まずは今年もサンガの監督を務めさせていたことができ、大変嬉しく思います。新しく加入した選手は明るい選手が多く、とても良い雰囲気です。山瀬はご存じの通り十分な実績を持った選手ですし、私も日本代表コーチ時代に彼を見ていたので、プレースタイルも理解しています。三平には得点に絡む働きに期待したいですし、オスンファンもチームの雰囲気を変える補強と言えますね。新しい風が入ることはサンガにとってとても良いことだと思います。



2013シーズン新加入選手の面々
(中央は大木監督)

『利』という必要条件を満たしていきたくと考えています。テーマは毎年変わらず、『一度見たらもう一度見たくなるサッカー』です。今年こそ新たなページをめくる年にしたいと思いますし、2014年はサンガのJリーグ入り20周年になりますので、この記念すべき年をJ1で迎えられよう全力を尽くします。今年も一緒に戦って下さい。どうぞ応援宜しくお願い致します。

京都スポーツの今



vol.3

今年こそJ1へ戻る。2010年にJ2に降格し、南アフリカワールドカップで日本代表のコーチを務めた大木武新監督のもと再起を図った京都サンガF.C.。大木監督が就任した2011年には8年ぶりに天皇杯決勝進出を果たし確実に成長の跡を残すも、惜しくもJ1昇格への切符は逃しました。そして迎えた昨シーズン。J1昇格プレーオフまで進出するも又しても涙をのむ結果に。その悔しさを胸に戦う今シーズンについて、大木武監督にお話を伺いました。



今シーズンから新たに加入した山瀬功治選手。「チームに怖さをもたらす存在になりたい」と意気込む。



全体練習の様子



おおき たけし
京都サンガF.C. 大木 武 監督

選手時代は(株)富士通サッカー部(現：川崎フロンターレ)でMF、FWとして活躍。現役引退後は、富士通に勤めながら、母校の東京農業大学でコーチに就任し、指導者の道を歩み始めた。その後、清水エスパルスなどの育成コーチやヴァンフォーレ甲府の監督を歴任し、2008年から日本代表コーチとしてチームを支えた。2011年から京都サンガの監督を務める。日本サッカー協会公認S級ライセンス。1961年7月16日、静岡県生まれ。

新たなページをめくる
シーズンにしたい

ROAD TO J1 3年目の挑戦

J23年目となる今シーズン、チームには新たな戦力が加わりました。一番の注目は何と言っても、川崎フロンターレから加入した山瀬功治選手。日本代表時代には10番を背負った経験を持つミッドフィルダーで、得点感覚に優れたテクニシャンタイプです。パスを繋ぐ現在のサンガのスタイルに、どんなアクセントを付けてくれるか楽しみです。他にも、大分トリニータでチーム得点王となりJ1昇格に貢献した三平和司選手や徳島から加入した大型GKのオスンファン選手など実力派が加わり、選手層により厚みが出ました。また、期限付き移籍していた育成組織出身の下畠翔吾選手と高橋祐治選手も、貴重な経験を帰ってきました。新たな頼もしい仲間を得て、今シーズンこそJ1昇格へ突き進みます。